

●抗インフルエンザウイルス検証

(財)北里環境科学センター 調べ

A型インフルエンザウイルス【H1N1】に対する不活性化を検証

感染価対数減少値 **2.72** \log_{10} 『抗ウイルス評価基準2.00 \log_{10} 以上』

不活性化効果 **99.975%**『ウイルス減少率』



ウイルス不活性化効果試験 (北環発21_0128号)

《証明された長期・安定機能》

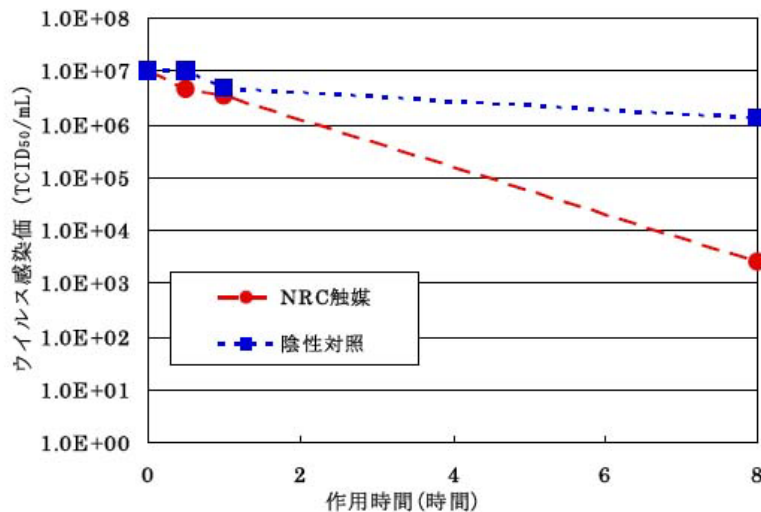
試験試料は、NRCを塗布し
充分乾燥させたものを使用しました。

●**長期間の機能持続!**
乾燥後に機能が働き持続します。

	0	0.5時間	1時間	8時間
NRC	1.0×10^7	4.5×10^6	3.5×10^6	2.5×10^3
陰性対照		1.0×10^7	4.7×10^6	1.3×10^6
感染価対数減少値【 \log_{10} 】	—	0.35	0.13	2.72 \log_{10}
不活性化効果『ウイルス減少率』	—	55%	65%	99.975%

単位: TCID₅₀/ml 検出限界値: 6.3TCID₅₀/ml
感染価対数減少値: \log_{10} (陰性対照のウイルス感染価 ÷ 試験品のウイルス感染価)

抗ウイルス評価基準: 2.00 \log_{10} 以上



※北里環境科学センターは、機能・効果を保証するものではありません。